

2025年 新年のご挨拶



日本脊椎脊髄病学会 理事長 中村雅也

新年明けましておめでとうございます。

日本脊椎脊髄病学会の会員の皆様におかれましては、健やかに新たな年をお迎えのことと存じます。昨年中は学会運営に御理解と御支援を頂きましたことに、心より感謝申し上げます。

昨年4月に理事長を拝命し、本学会の目的である「脊椎脊髄疾患に関する基礎研究および臨床研究を促進し、学術集会の開催を通して会員の研究成果を発表し交流を図り、人類の健康の保持や増進に帰する」の達成に向けて、1)学会のさらなる安定的な成長、2)安心安全な脊椎脊髄疾患治療のエビデンス構築、3)次世代を担う人材の育成、4)国際化に向けた海外関連学会との連携強化の4つのアクションプランを掲げさせて頂きました。

1)と3)に関しては、会員数も約4000名に増加し、コロナの終息を受けて昨年の学術集会への参加者もコロナ前を超えるまで復活いたしました。今後は学術集会を軸に本学会をさらに発展させて参りたいと思います。2)に関しては、長年の努力が実り、本学会のデータベースは悉皆性の高いデータ基盤として構築できつつあります。今後は、これらのリアルワールドデータを活用した様々なプロジェクトを開始する予定です。これらのプロジェクトを通して、脊椎脊髄疾患治療のエビデンスを構築して参りたいと思います。4)に関しても、これまでのNASS、KSSS、TWSS、APSSとの連携に加えて、昨年にはEuro Spineと新たにMOUを締結いたしました。今後、これらの学会との連携をさらに強化していきたいと思っております。

本学会のさらなる発展に向けて、微力ながら尽力していく所存です。本年も学会員の皆様の変らぬご支援とご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。